

地方独立行政法人長野県立病院機構評価委員会による
平成 27 年度評価結果について

1 総合評価

健康福祉政策課

- 医療の質の向上を図りつつ、それぞれの地域のニーズに応じた医療、高度・専門医療を関係機関と連携し提供するとともに、県内の医療人材の育成や県内医療水準の向上に向けた取組を進めた。
- 高齢者等が住み慣れた場所で生活を続けるため、須坂病院では、地域包括ケア病棟の通年運用や在宅医療に積極的に取り組んだほか、阿南病院では、阿南町の医療介護の情報共有システムに参加した。また、木曽病院では、がんの相談体制や診療体制を整備し、「地域がん診療病院」の指定を受け、木曽地域におけるがん医療を充実させた。
- 収益面での効果などを考慮して職員の採用・配置を行ったほか、医療組織にふさわしい人事評価制度の構築に向けた検討を始めた。また、年度計画を着実に実施するため、各病院でアクションプランを策定し、その進捗を意識した病院運営に努めた。
- 患者数の増加やへき地医療への支援を重視した運営費負担金の増額などにより、経常収益は前年度に比べ6億円余り増加した。経常費用は、医師等の職員の増員等による給与費や年金制度改革による法定福利費の増加があったが、経常損益は前年度と比べ大幅に改善し3,657万円の黒字となった。
- 平成 27 年度における病院機構は、第 2 期中期計画の初年度として県民から求められる医療を確実に提供するとともに、地方独立行政法人にふさわしい経営基盤の確立に向け、着実に進んでいることが確認できた。今後、医療を取り巻く環境が変化する中、県民に必要な医療サービスの充実と経営改善に向けた取組を継続することで、第 2 期中期計画を達成できるものと思われる。

2 特に評価できる取組

① 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

地域包括ケアシステム構築に向けた取組	<p>須坂病院では、地域包括ケア病棟を安定的に稼働させ、多くの患者を自宅や介護施設等に移行させたほか、在宅医療については、利用者のニーズの把握に努め、前年度を上回る件数を実施した。</p> <p>阿南病院では、阿南町が推進した地域医療介護連携支援システムに、病院の電子カルテシステムを接続させ、医療・介護双方が互いの情報を確認できるようになった。</p>
木曽病院の「地域がん診療病院」の指定に向けた取組	<p>がんに関する相談、患者サロンの開催、情報提供などを行い、患者や家族への支援体制を充実させた。また、信州大学医学部附属病院からの派遣医師により、緩和ケア外来や病棟で診療を行ったほか、緩和ケアチームに専従の認定看護師を配置し、がんにおける医療機能を充実させた。</p>

② 病院別

須坂病院	<p>○医師の確保による診療体制の強化</p> <p>外科チームの入替えを行ったほか、循環器内科等の多くの診療科で医師を確保できた。医師不足が続く中、関係する大学への協力依頼や人材会社の活用など様々な手段により医師確保に努め、診療体制の充実に取り組んだ。</p>
こころの医療センター駒ヶ根	<p>○児童精神科病棟の充実</p> <p>医師や臨床心理士などのスタッフの充実と様々な関係機関との連携を強化することにより、県内で唯一の児童精神科病棟の機能を充実させた。</p>
阿南病院	<p>○地域包括ケアシステム構築に向けた支援と在宅医療の推進</p> <p>地域のニーズに応じた訪問診療、訪問看護等を行った。また、阿南町が進める地域医療介護連携支援システムに参加した。</p>
木曽病院	<p>○「地域がん診療病院」の指定に向けた取組</p> <p>がんの相談体制や診療体制を整備し、木曽地域のがん医療を充実させた。</p>

こども病院	<p>○小児患者の在宅移行支援や成人移行への対応の充実 在宅医療を担う地域の医療機関等に向けた研修会を開催したほか、信州大学医学部附属病院と連携し、先天性心疾患の患者の成人移行外来を運営するなど、こども病院を退院後、地域で治療を続けながらの生活するために必要な環境整備に努めた。</p>
信州木曾看護専門学校	<p>○学生の自主性の向上や地域住民との積極的な交流 学校祭などの課外活動が学生主導で行われるようになり、学生が木曾地域に愛着を持ち、地元の人たちと良好な関係を築いた。</p>

3 今後に向けた課題（主なもの）

① 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- ・各病院では医療の質の向上を図りながら、地域のニーズに応じた医療、感染症や精神、小児・周産期の高度・専門医療を関係機関と連携し提供している。今後もこれらの医療サービスを着実に提供していただきたい。
- ・関係大学等との連携や民間会社の利用、研究資金の活用等により医師を確保するとともに、看護師や医療技術職員についても養成校へのアピールや採用試験を工夫し、人材を確保していただきたい。

② 業務運営の改善及び効率化に関する事項

- ・県立病院の将来を担う人材が定着する魅力ある組織にするため、医療組織にふさわしい人事評価制度など、地方独立行政法人の経営の自由度を活かした人事・給与制度を検討していただきたい。

③ 財務内容の改善に関する事項

- ・前年度に比べ経常収支が改善し、2期ぶりに黒字を確保した点は評価するが、中期計画と実績が大幅に乖離した。各病院では年度計画の進捗状況を意識し、病院長を中心に医業収益の確保や経費の削減に積極的に取り組むとともに、機構本部では、経営状況を踏まえた職員の採用や設備投資を行うほか、各病院と協働した経費削減等の経営改善策を実施し、中期計画の達成に向けた取組を一層強化していただきたい。

④ 病院別

【須坂病院】

- ・平成 29 年度に業務開始が予定される新棟の活用について、地域における病院の役割を踏まえ、より充実した医療・保健機能が発揮できるよう検討していただきたい。

【こころの医療センター駒ヶ根】

- ・平成 29 年度の精神科研修・研究センター開設に向け、先進的な取組を行う病院の特性を活かし、県内精神医療のレベルアップや地域の精神医療充実のため、人材育成が行えるよう準備を進めていただきたい。

【阿南病院】

- ・患者の減少傾向が続き、病床利用率が 60% を割っていることから、長期的な病院経営を見据え、地域の実情を踏まえた改善策を検討していただきたい。

【木曾病院】

- ・入院患者数の減少の原因を客観的に検証し、国の医療・介護制度の動きなどを踏まえ、地域のニーズに応じた医療サービスを継続的に提供できるよう改善策等を検討していただきたい。

【こども病院】

- ・予防接種センターや産科外来での相談業務、新生児マス・スクリーニングに基づくカウンセリングなど、保護者への丁寧な説明のもと治療が行えるような取組を充実させていただきたい。

【信州木曾看護専門学校】

- ・第 1 期生が全員、看護師国家試験に合格できるよう必要なサポートを行っていただきたい。
- ・多くの学生が木曾病院等の県内の病院での就職を選択し、県内の医療の充実が図られるよう、今後のキャリアについてサポートしていただきたい。